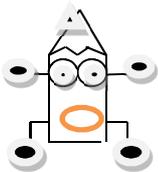
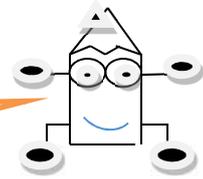




## 認定調査とつきクン通信 (R4第1号)

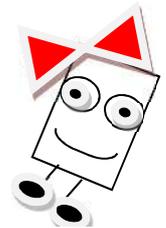
調査員の皆様においては、日々頑張ってくださいありがとうございます。今回はとつきクンから重要なお知らせがあります。



3-7 4-12 5-1 の江戸川区の評価が全国平均とずれが生じていることに着目しました。

**3-7 場所の理解** 「自宅」「施設」等区別がつけば「できる」を選択しますが、自宅でないにもかかわらず、どこにいるか理解していない場合は「できない」を選択します。

調査員ハンドブック 別冊 問いかけ集 P.49 で確認したわ。  
「今どこにいるか」を聞くようにしたらいいのね。



### 4-12 ひどい物忘れ

「ひどい物忘れ」行動の頻度を評価します。

右記のデータより江戸川区の評価が全国平均と比べ、ずれが生じていることが分かりました。

R2年4~9月の要介護認定適正化事業分析データ

4-12	江戸川区 (%)	都 (%)	全国 (%)
物忘れ			
ない	77.2	70.0	68.2
ときどき	5.1	5.4	5.4
ある	17.7	24.7	26.4

再度定義と照らし、誤りがないか東京都に確認し、ずれの原因を探りました。

東京都からの見解は定義の中の「この物忘れによって、何らかの行動が起こっているか、周囲の者が何らかの対応をとらなければならないような状況(火の不始末など)をいう。」

この文章中の と の間に「もしくは」が入る文章であるとのこと。よって

上記の と のいずれかが発生している場合は

週1回以上は「ある」 月1回以上週1回未満は「ときどきある」となります。

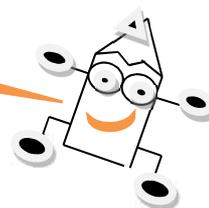
調査時必ず確認して欲しい内容

- 1.この物忘れによって何らかの行動が起きているか
- 2.周囲の者が何らかの対応をとらなければならない状況があるのかどうか
- 3.過去1か月間の頻度、時間

他にも、調査員ハンドブック 別冊 問いかけ集 P.66 にありますが、探し物が見つからない時に、「人に盗られた」「誰かに持っていかれた」等の被害的な発言の有無を確認して下さい。

4-1「被害的」4-2「作話」に関連してきます。

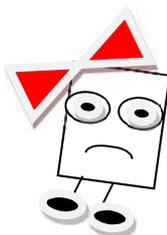
適正に評価できているか確認することは必要だね。



## 5-1 薬の内服

何がちがっているのかしら？  
全国平均とズレているわね  
全介助が少ないようだね。

5-1	江戸川区 (%)	都 (%)	全国 (%)
薬の内服			
介助されていない	28.2	29.4	26.5
一部介助	60.4	52.5	54.6
全介助	11.3	18.1	18.9



テキスト P.132

「3.全介助」の部分を見ると

薬や水を手元に用意する、薬を口に入れるという一連の行為に介助が行われている場合をいう。

東京都より、薬を口に入れるまで介助が行われていれば「全介助」となる。と確認しました。

水を飲む行為については特記として記して下さい。

同じ「全介助」でも自分で飲めるのか、介助で飲むのかで二次判定での評価の対象になります。

